

令和5年度 結婚・出産・子育てに関する 市民アンケート報告書

調査期間：令和5年8月4日(金)～8月21日(月)

札幌市

目 次

第 I 章 調査結果編

1 調査実施の概要	2
(1) 目 的-----	2
(2) 設 計-----	2
(3) 回収結果-----	2
(4) 回答者の特性-----	2
(5) 集計・分析上の注意事項-----	2
2 調査結果の詳細	
(1) 婚姻状況	5
(2) 独身者アンケート	6
① 性別-----	6
② 年齢-----	6
③ 出身地-----	7
④ 最終学歴-----	7
⑤ 卒業の有無-----	8
⑥ 年収-----	8
⑦ 勤務状況-----	9
⑧ 労働時間-----	9
⑨ 結婚に関する考え方-----	10
⑩ 結婚を考える年齢と結婚相手の希望年齢-----	11
⑪ 結婚相手を決めるときの重要度-----	12
⑫ 結婚するとした場合の障壁-----	17
⑬ 新型コロナウイルス感染症拡大前と比較した結婚への関心の変化-----	19
⑭ 独身でいる理由-----	20
⑮ 結婚することの利点-----	22
⑯ 独身でいることの利点-----	24
⑰ 希望する子どもの数-----	26
⑱ 子どもを1人以上欲しいと考える理由-----	29
(3) 有配偶者アンケート	
① 性別-----	31
② 結婚生活を始めた時期-----	31
③ 結婚経験-----	32
④ 結婚した時の年齢-----	32
⑤ 年齢-----	33
⑥ 出身地-----	34
⑦ 最終学歴-----	35
⑧ 年収-----	36
⑨ 勤務状況-----	37
⑩ 労働時間-----	38

⑪ 結婚相手と知り合ったきっかけ-----	39
⑫ コロナ前と比較した働き方の変化-----	41
⑬ コロナ前と比較した家事・育児の役割分担の変化-----	42
⑭ 夫婦の出生力-----	43
⑮ これまでに持った子供の人数-----	44
⑯ 今後持つ子どもの人数-----	46
⑰ 最終的な子どもの人数-----	48
⑱ これまでに持った子どもの人数と実際に持つつもりの子どもの人数の差-----	50
⑲ 理想的な子どもの人数-----	51
⑳ 予定している子どもの人数が実現できない原因-----	53
㉑ 理想の子どもの人数が実現できない原因-----	56
㉒ 不妊についての不安や悩み-----	58
㉓ 不妊の検査や治療の経験-----	58
 第Ⅱ章 資料編-----	 60
1 単純集計結果-----	61
2 クロス集計結果-----	80
3 調査票-----	317

第 I 章 調査結果編

1 調査実施の概要

(1) 目的

札幌市では、『第2期さっぽろ未来創世プラン』を策定し、人口減少の緩和に向けた取組を進めているが、我が国をとりまく人口減少・少子高齢化等の課題は依然として厳しい状況にあり、札幌の人口も、今後徐々に減少傾向に拍車が掛かっていくことが見込まれている。本調査では、市民の結婚・出産・子育てに関する意識等を調査し、今後のまちづくりを考えるための基礎資料の1つとする。

(2) 設計

調査地域	札幌市内
調査対象	独身者：18～49歳の男女 有配偶者：20～49歳の男女
標本数	20,000人
調査方法	調査票を郵送し、返信用封筒で回収またはWEBで回答
調査期間	令和5年(2023年)8月4日(金)～8月21日(月)
抽出方法	本市の電算システムによる無作為抽出

(3) 回収結果

発送数	20,000件(独身者：10,000件、有配偶者：10,000件)
回収数	総数：4,053件／回収率 20.3% (うち男性：1,497件、女性：2,478件、性別未回答 78件) 独身者：1,541件／回収率 15.4% (うち男性 585件、女性 942件、性別未回答 14件) 有配偶者：2,460件／回収率 24.6% (うち男性 912件、女性 1,536件、性別未回答 12件)

(4) 回答者の特性

回収サンプル数(全体：性別×年齢)

全体	男性		女性		性別未回答		全体	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
18～19歳	42	2.8	77	3.1	2	2.6	121	3.0
20～24歳	136	9.1	179	7.2	3	3.8	318	7.8
25～30歳	181	12.1	344	13.9	2	2.6	527	13.0
30～34歳	209	14.0	383	15.5	3	3.8	595	14.7
35～39歳	260	17.4	426	17.2	4	5.1	690	17.0
40～44歳	298	19.9	517	20.9	7	9.0	822	20.3
45歳～	355	23.7	516	20.8	1	1.3	872	21.5
未回答	16	1.1	36	1.5	56	71.8	108	2.7
合計	1,497	100.0	2,478	100.0	78	100.0	4,053	100.0

回収サンプル数（独身者：性別×年齢）

独身者	男性		女性		性別未回答		全体	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
18～19歳	42	7.2	77	8.2	2	14.3	121	7.9
20～24歳	127	21.7	160	17.0	3	21.4	290	18.8
25～30歳	105	17.9	189	20.1	2	14.3	296	19.2
30～34歳	90	15.4	127	13.5	1	7.1	218	14.1
35～39歳	70	12.0	112	11.9	1	7.1	183	11.9
40～44歳	71	12.1	128	13.6	4	28.6	203	13.2
45歳～	80	13.7	149	15.8	0	0.0	229	14.9
未回答	0	0.0	0	0.0	1	7.1	1	0.1
合計	585	100.0	942	100.0	14	100.0	1,541	100.0

回収サンプル数（有配偶者：性別×年齢）

有配偶者	男性		女性		性別未回答		全体	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
18～19歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20～24歳	9	1.0	19	1.2	0	0.0	28	1.1
25～30歳	76	8.3	155	10.1	0	0.0	231	9.4
30～34歳	119	13.0	256	16.7	2	16.7	377	15.3
35～39歳	190	20.8	314	20.4	3	25.0	507	20.6
40～44歳	227	24.9	389	25.3	3	25.0	619	25.2
45歳～	275	30.2	367	23.9	1	8.3	643	26.1
未回答	16	1.8	36	2.3	3	25.0	55	2.2
合計	912	100.0	1,536	100.0	12	100.0	2,460	100.0

（５）集計・分析上の注意事項

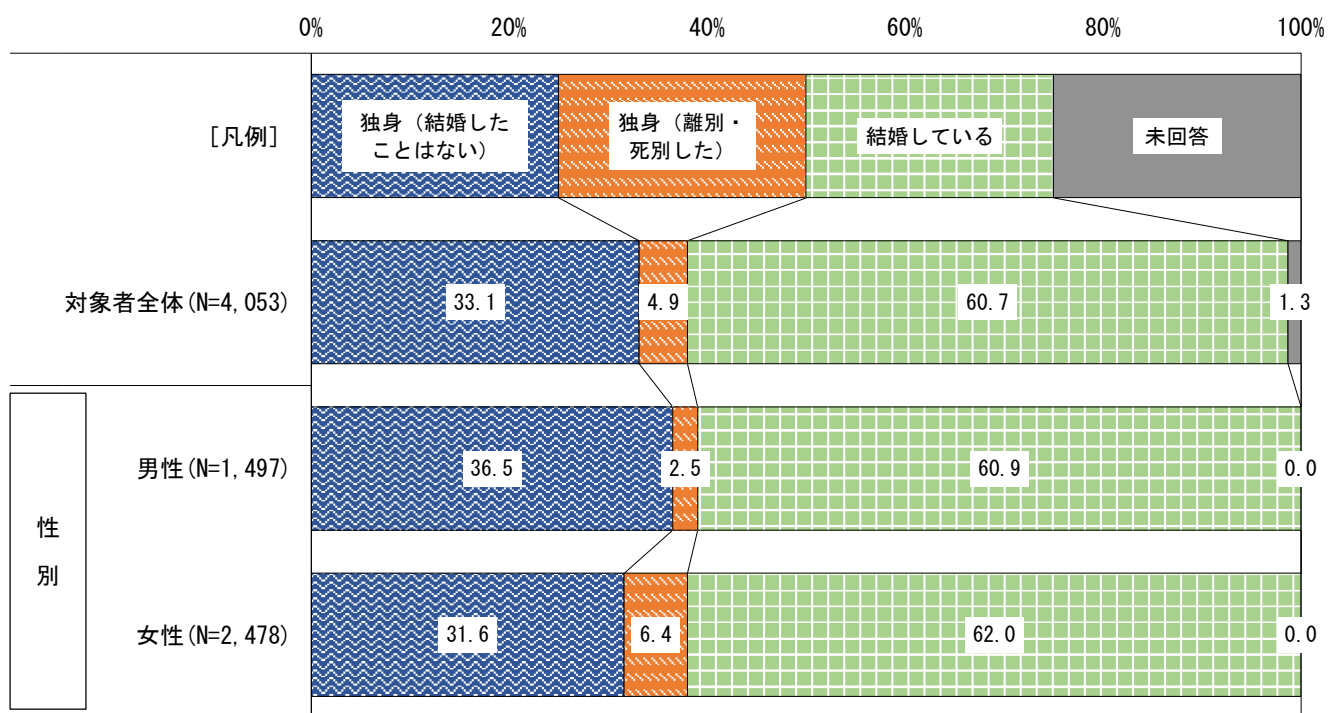
- ・ 報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、「N」で標記している。また、図表中の構成比（％）は、小数点第２位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも 100.0％になっていない場合がある。
- ・ 報告書内の図表において、「前回」は H30 年度札幌市実施の「次期未来創生プラン策定のための調査・分析」、「全国」は R3 年度国実施の「第 16 回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」を指す。

2 調査結果の詳細

(1) 婚姻状況

「結婚している」が全体で最も高く、男性・女性ともに6割を超えている。

図 1-1 婚姻状況

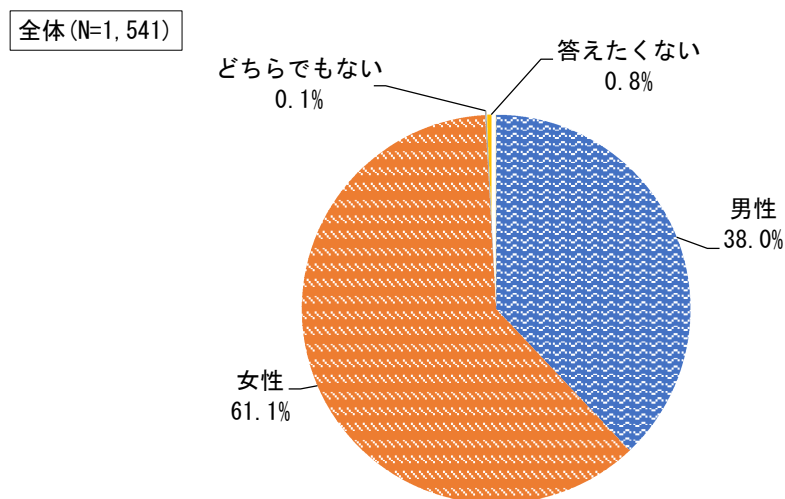


(2) 独身者アンケート

① 性別

「男性」が38.0%、「女性」が61.1%、「性別未回答」が0.9%となっている。

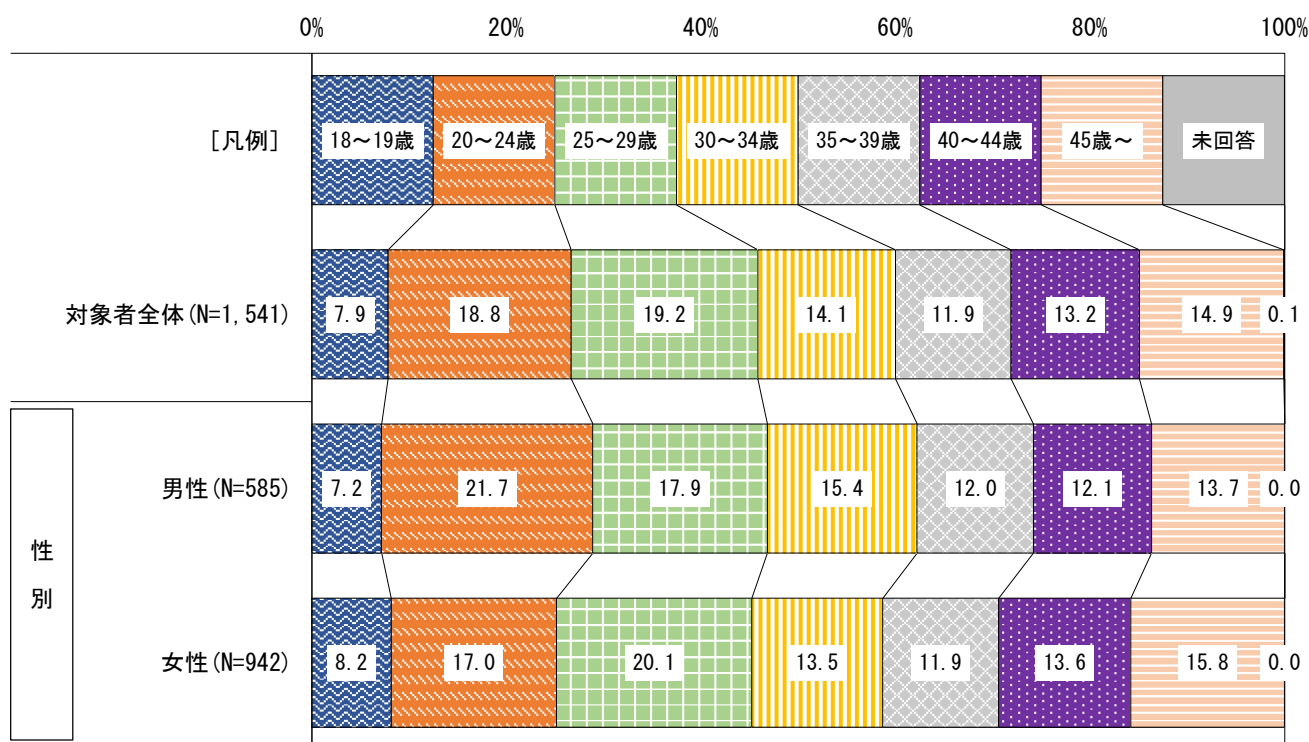
図 2-1 性別



② 年齢

男性では「20～24 歳」が21.7%と最も高く、女性では「25～29 歳」が20.1%と最も高い。

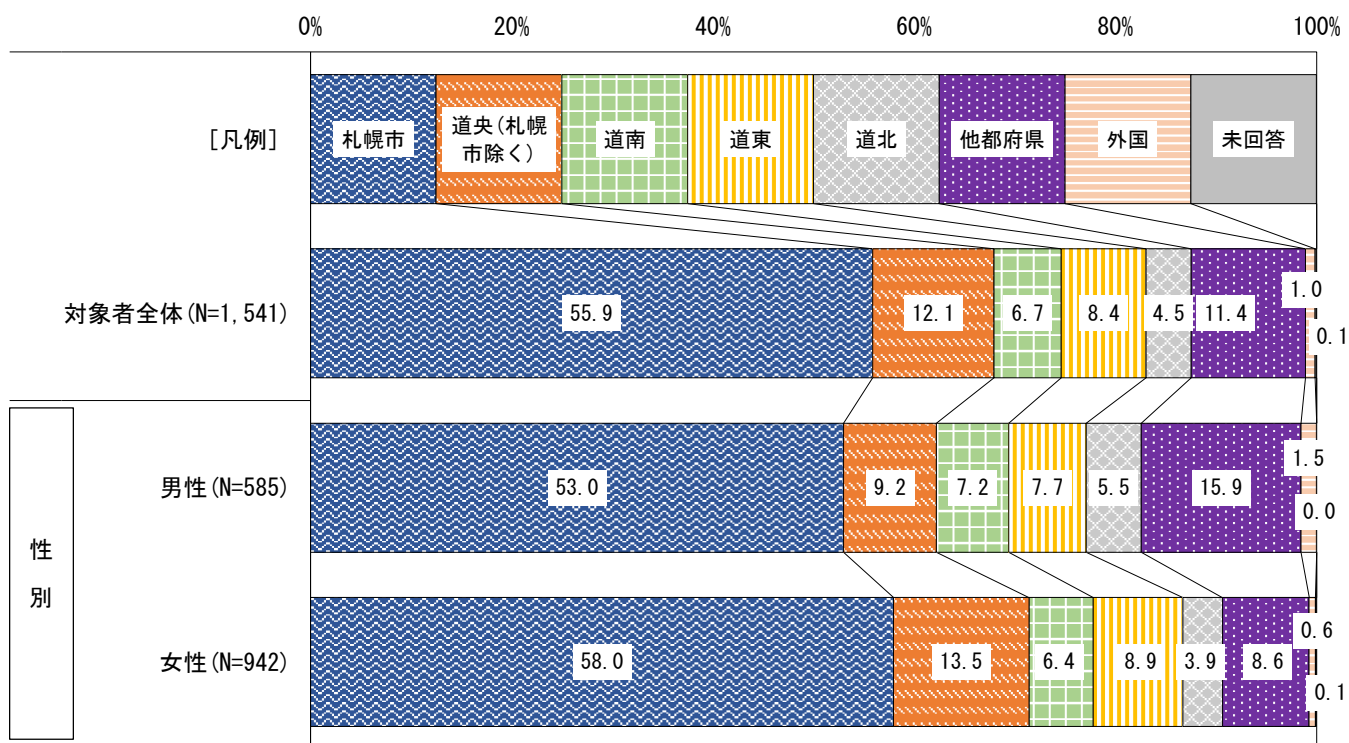
図 2-2 年齢



③ 出身地

出身地は、男女ともに「札幌市」が最も高く、男性で 53.0%、女性で 58.0%と半数を超えている。次いで、女性では「道央(札幌市除く)」が 13.5%、男性では「他都府県」が 15.9%となっている。

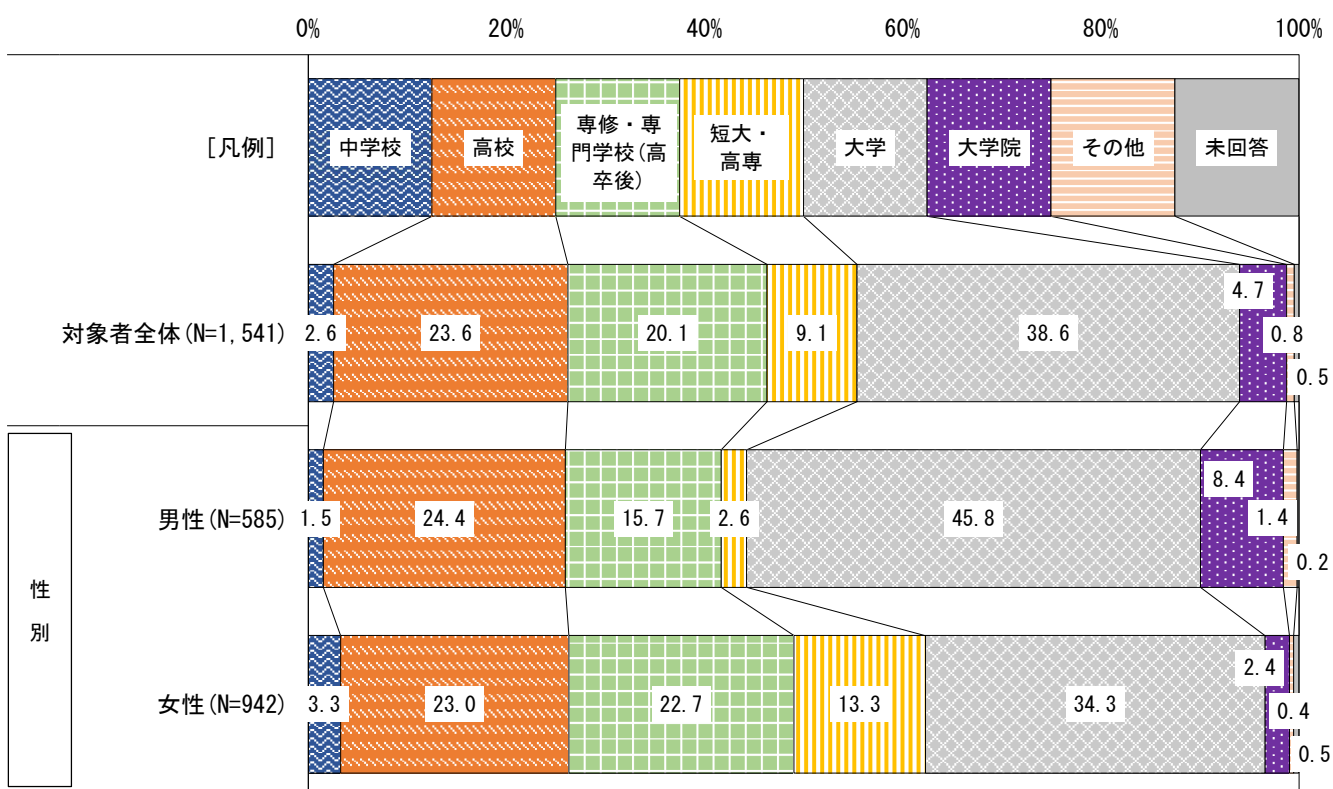
図 2-3 出身地



④ 最終学歴

最終学歴は、男女共に「大学」が最も高く、男性で 45.8%、女性で 34.3%となっている。次いで「高校」が高く、男性で 24.4%、女性で 23.0%となっている。

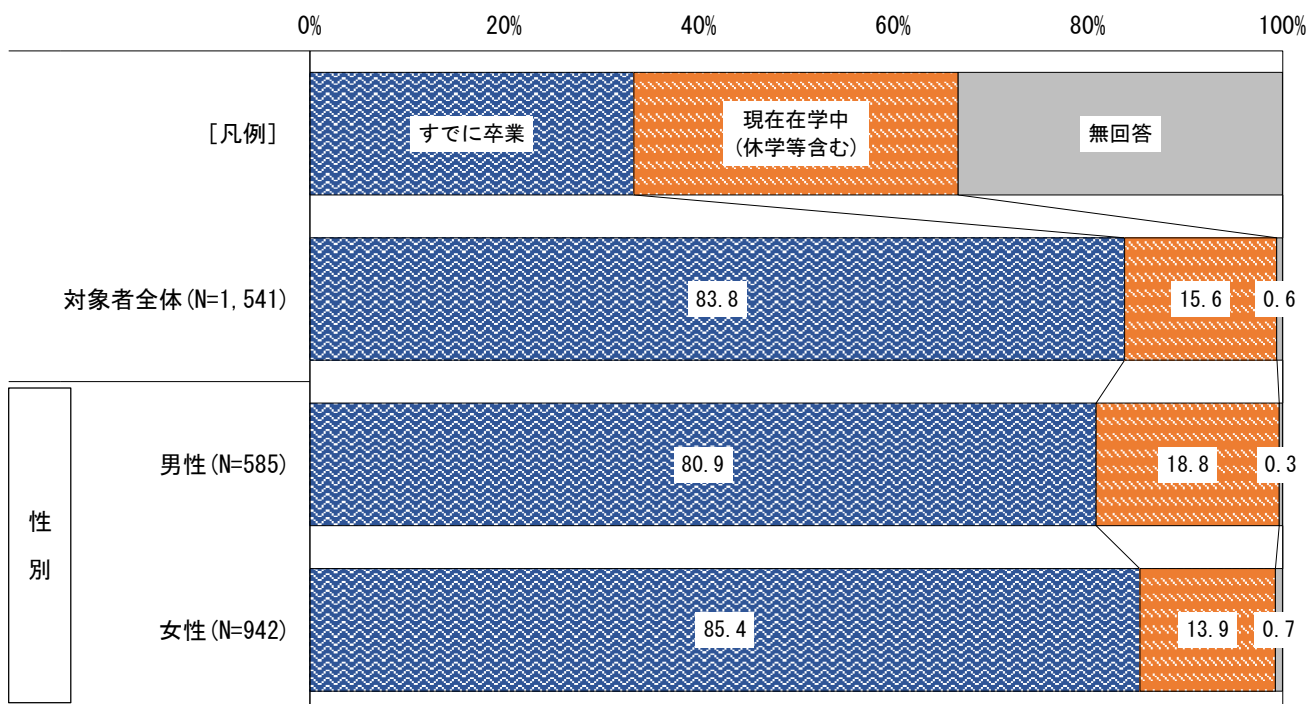
図 2-4 最終学歴



⑤ 卒業の有無

最後に卒業あるいは在学中の学校について、男女ともに「すでに卒業」が最も高く、男性で80.9%、女性で85.4%となっている。

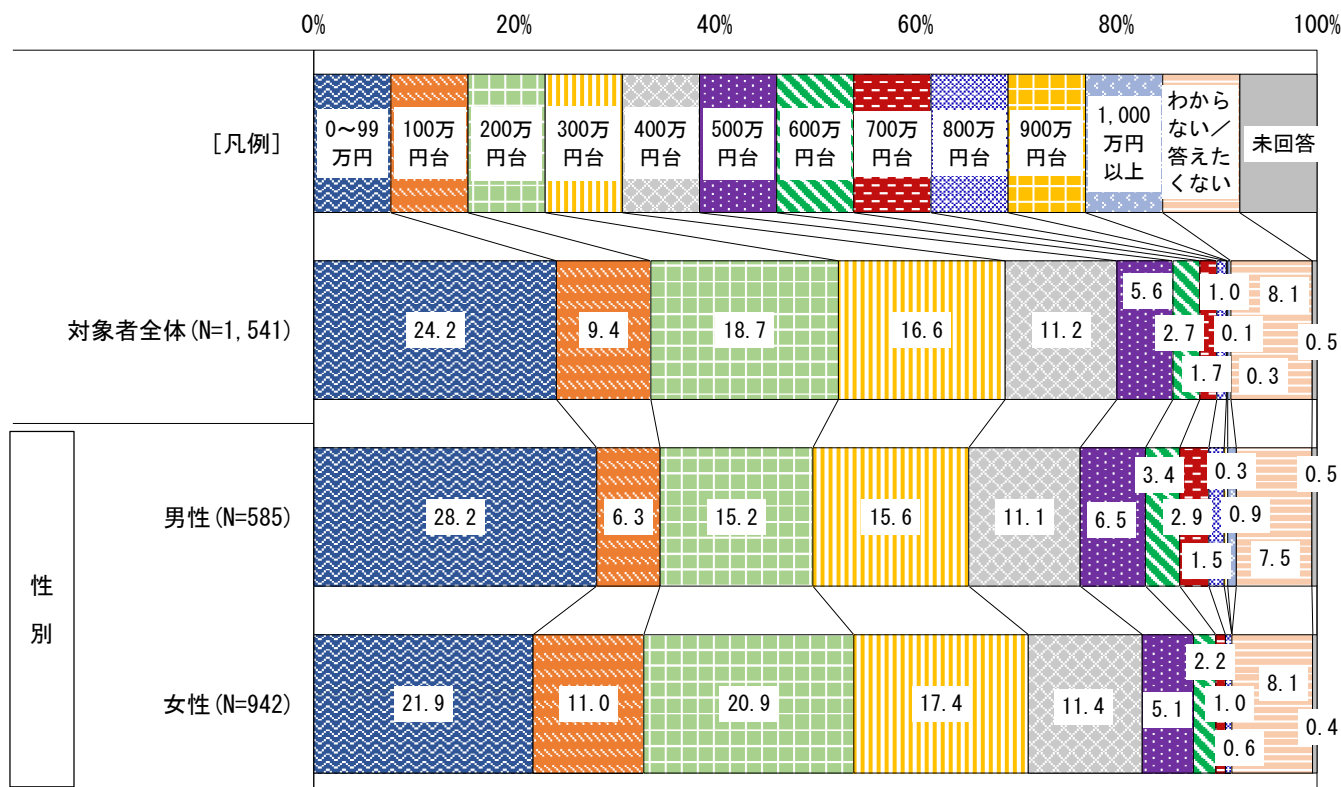
図 2-5 卒業の有無



⑥ 年収

昨年(2022 年)のおおよその年収について、男女ともに「0～99 万円」が最も高く、男性で 28.2%、女性で 21.9%となっている。次いで、男性では「300 万円台」が 15.6%、女性では「200 万円台」が 20.9%となっている。200 万円台以下と答えた割合の合計は、男性で 49.7%、女性で 53.8%となっており、ともに約半数となっている。

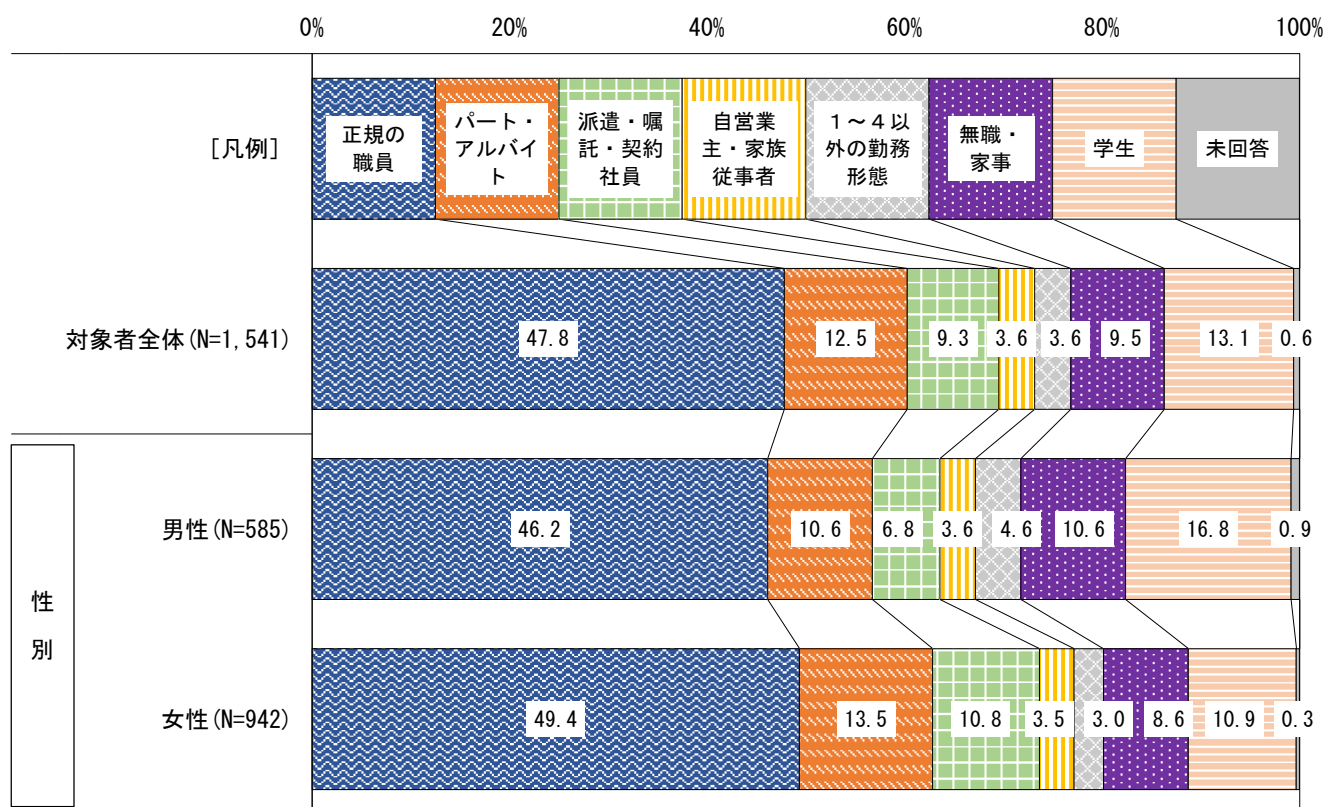
図 2-6 年収



⑦ 勤務状況

現在の勤務状況は、男女ともに「正規の職員」が最も高く、男性で 46.2%、女性で 49.4%となっている。次いで、男性は「学生」が 16.8%、女性は「パート・アルバイト」が 13.5%となっている。

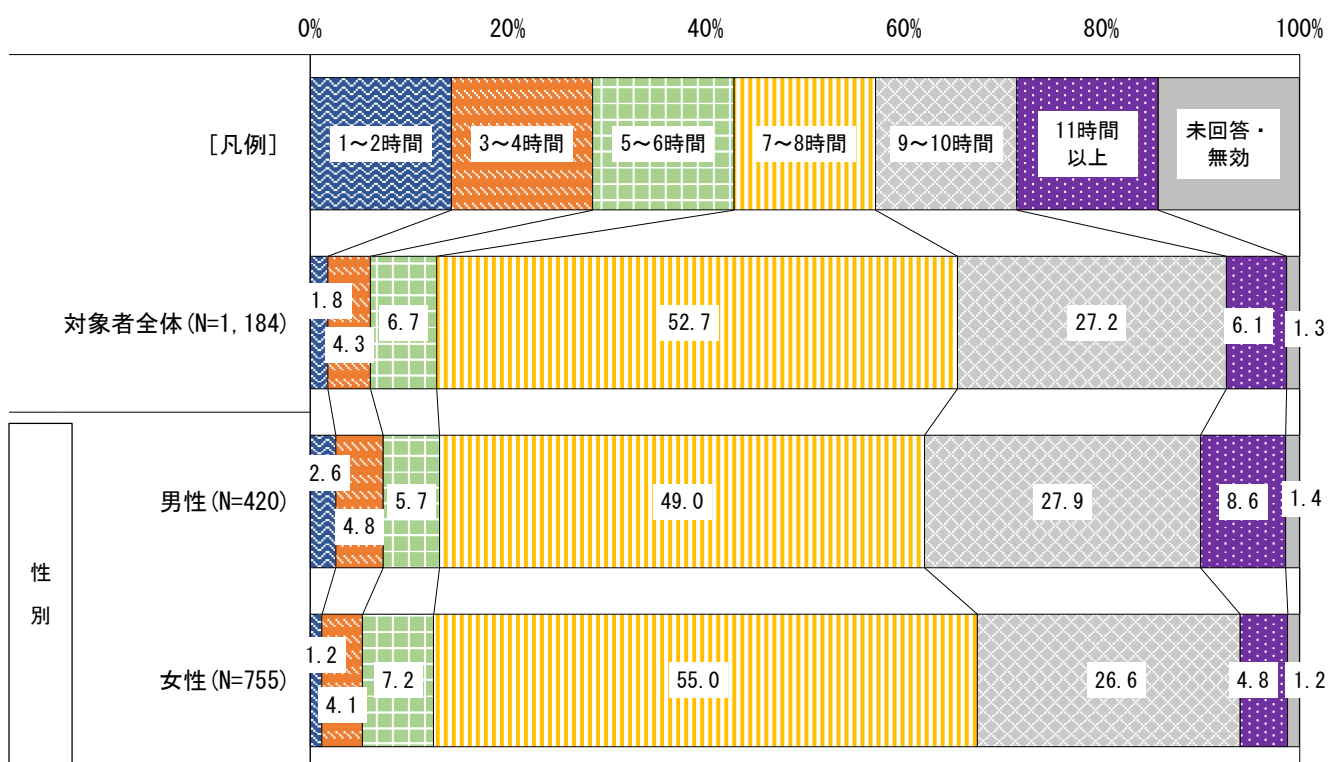
図 2-7 勤務状況



⑧ 労働時間

1日の平均的な労働時間について、男女ともに「7～8時間」が最も高く、男性で 49.0%、女性で 55.0%、次いで「9～10時間」が高く、男性で 27.9%、女性で 26.6%となっている。

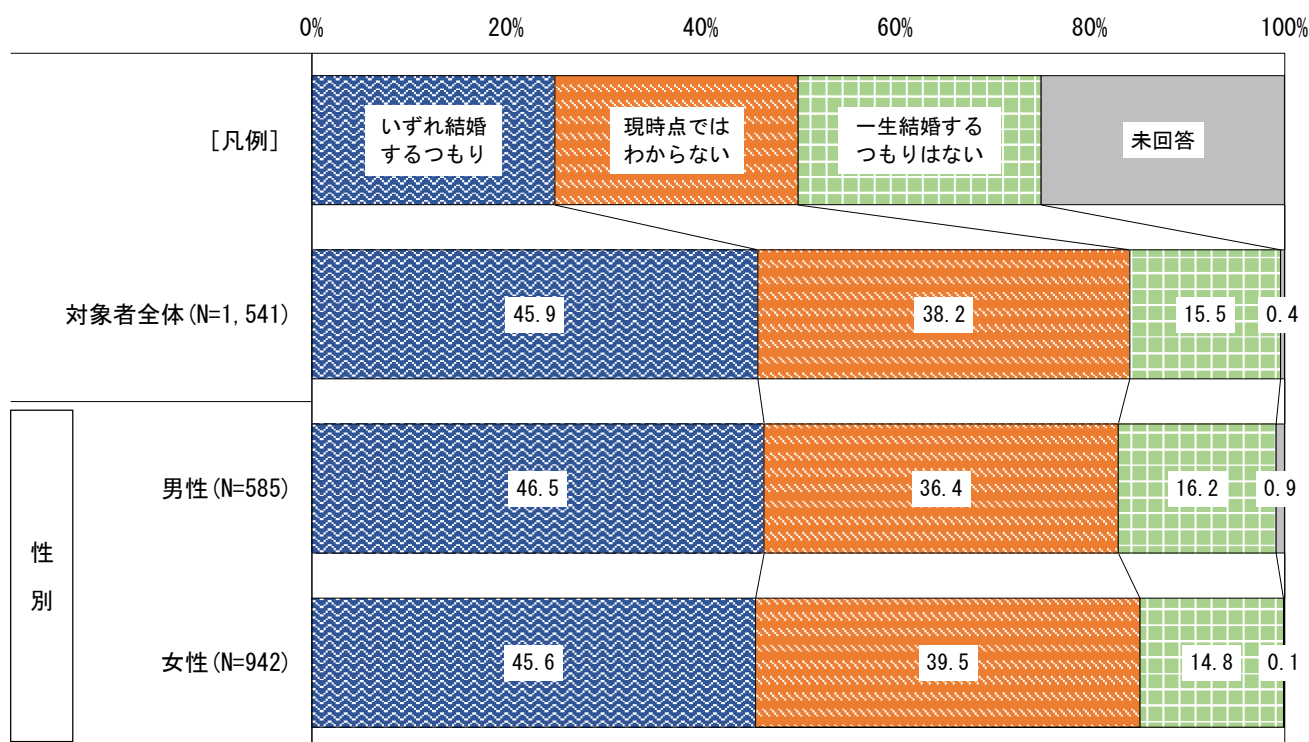
図 2-8 労働時間



⑨ 結婚に関する考え方

結婚に対する考え方は、男女ともに「いずれ結婚するつもり」が最も高く、男性で 46.5%、女性で 45.6% となっている。次いで、「現時点ではわからない」が高く、男性で 36.4%、女性で 39.5% となっている。

図 2-9 結婚に対する考え方



「いずれ結婚したいと思う」と回答した割合を年齢別でみると、30代では男女ともに前回調査に比べ回答した割合が増加している。20代においてはわずかな増加もしくは前回は下回った。

図 2-10 いずれ結婚したいと思う割合(男性)

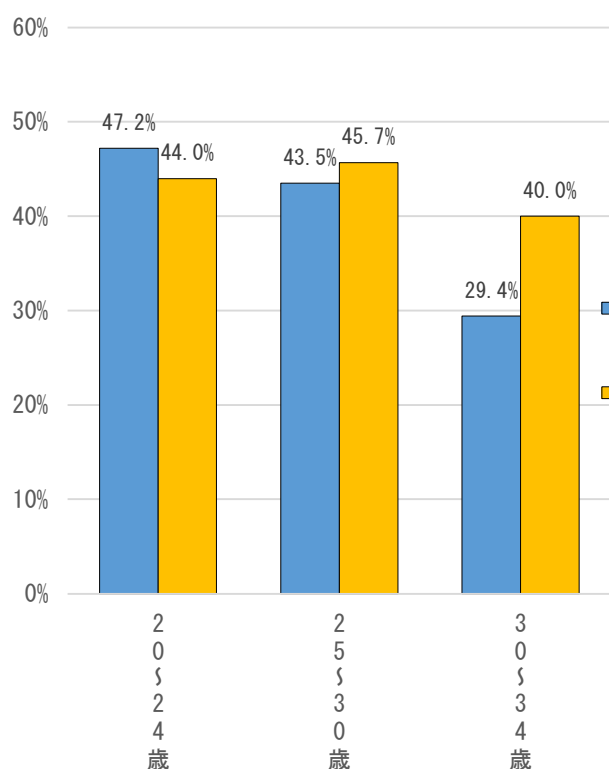
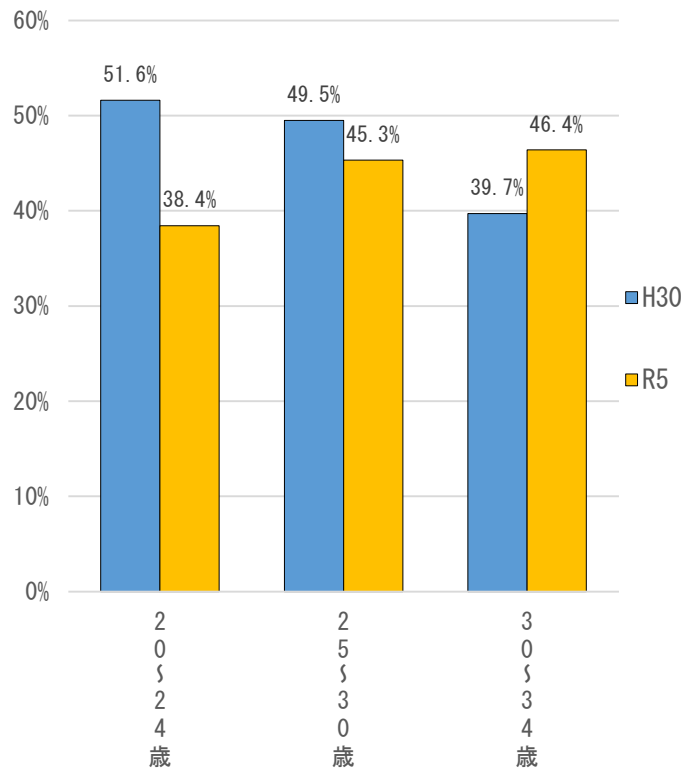


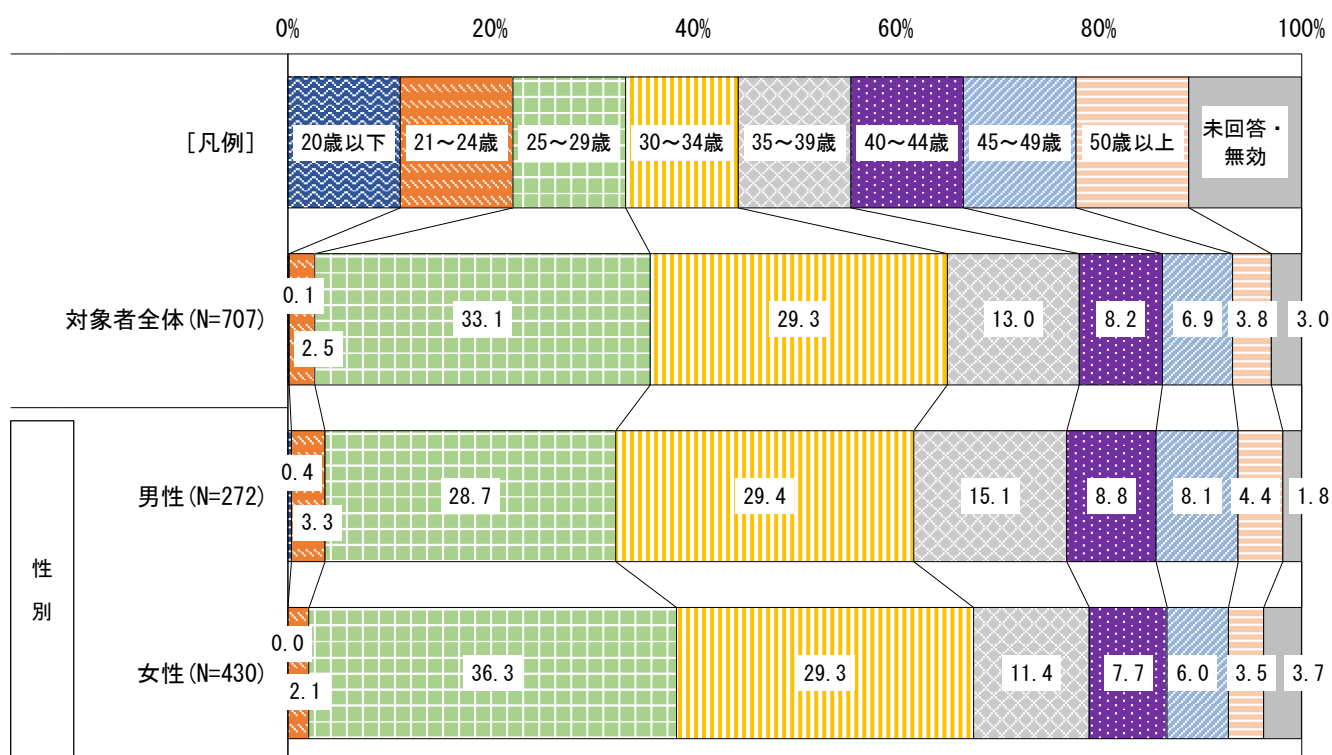
図 2-11 いずれ結婚したいと思う割合(女性)



⑩ 結婚を考える年齢と結婚相手の希望年齢

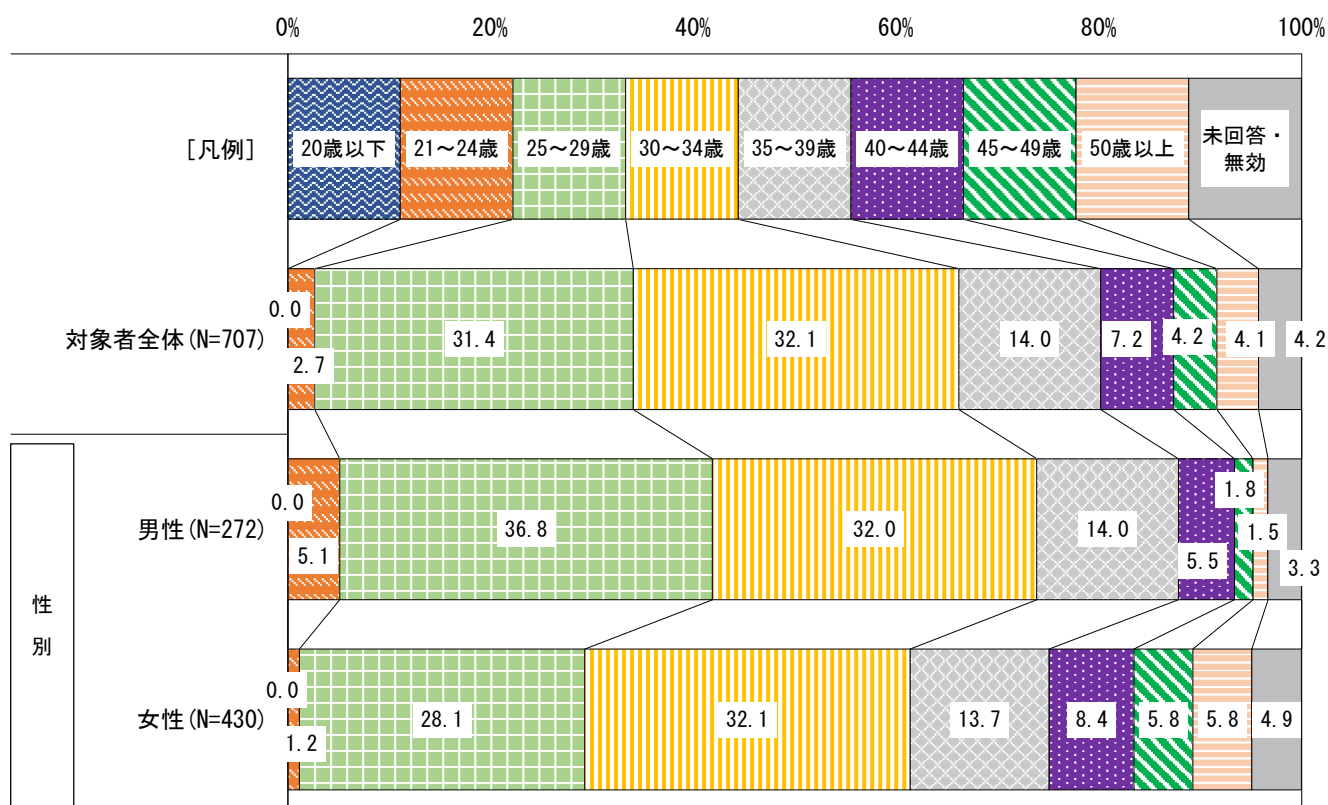
結婚を考える年齢については、男性では「30～34 歳」が 29.4%、女性では「25～29 歳」が 36.3%と最も高くなっている。次いで、男性では「25～29 歳」が 28.7%、女性では「30～34 歳」が 29.3%となっている。

図 2-12 結婚を考える年齢



また、結婚相手の希望年齢については、男性では「25～29 歳」が 36.8%と最も高く、女性では「30～34 歳」が 32.1%と最も高くなっている。

図 2-13 結婚相手の希望年齢



⑪ 結婚相手を決めるときの重要度

結婚相手を決めるときに重視する点について、男女ともに「重視する」と回答した割合が高かった項目は「家事・育児に対する姿勢」で、男性で72.8%、女性で77.4%となっている。次いで、男性は「相手の容姿」で44.1%、女性は「相手の人柄」で52.3%となっている。

図 2-14 結婚相手を決めるときの重要度（男性）

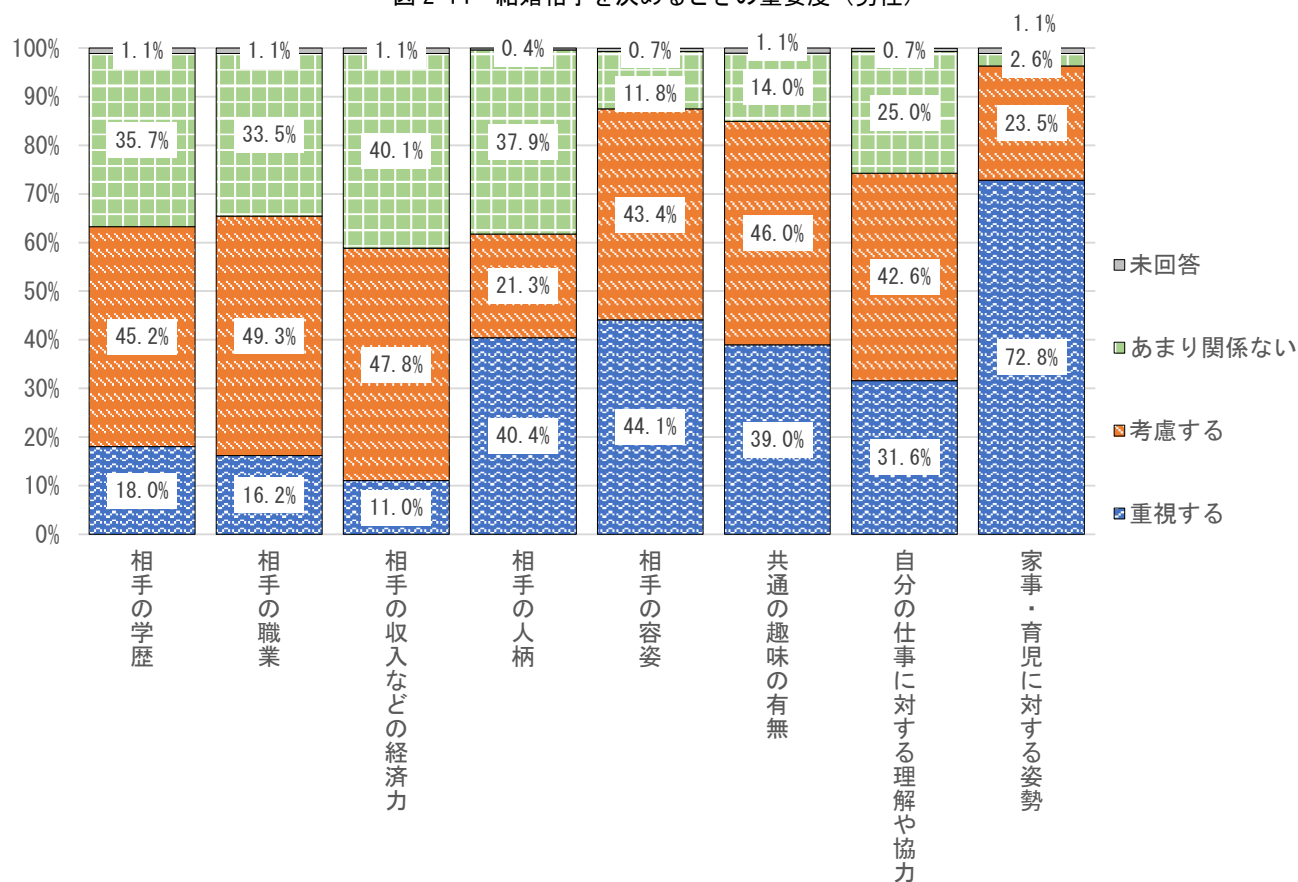
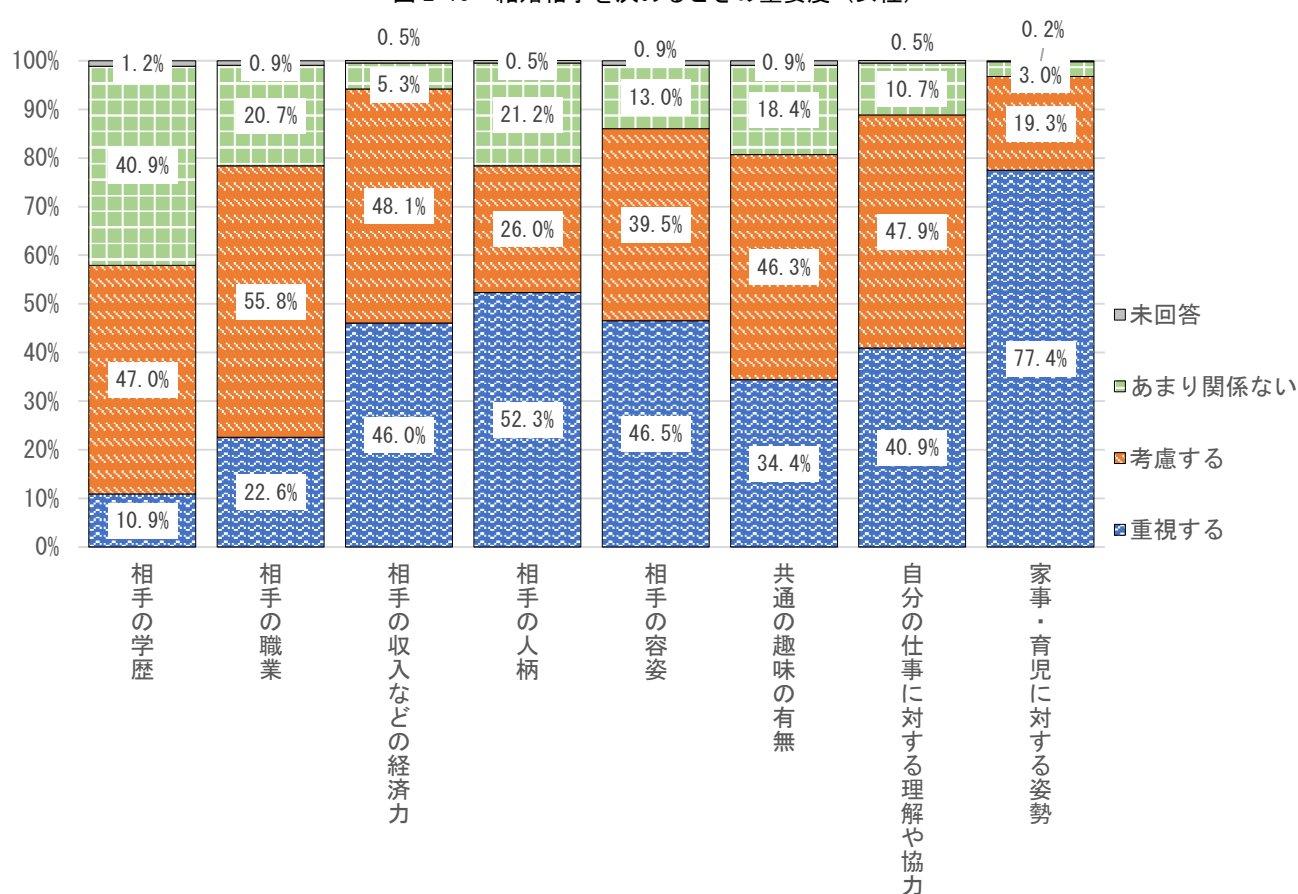


図 2-15 結婚相手を決めるときの重要度（女性）



また、男女差でみると、「重視する」「考慮する」を合わせた割合が女性に比べ男性の方が高い項目は、「相手の学歴」「相手の容姿」「共通の趣味の有無」で、最も差が大きいのは「相手の学歴」の 5.3 ポイントとなっている。逆に男性に比べて女性の方が高い項目は「相手の職業」「相手の収入などの経済力」「相手の人柄」「自分の仕事に対する理解や協力」で、最も差が大きいのは「相手の収入などの経済力」の 35.4 ポイントとなっている。「家事・育児に対する姿勢」はほとんど性別による差がなかった。

図 2-16 結婚相手を考えるときの重要度：相手の学歴

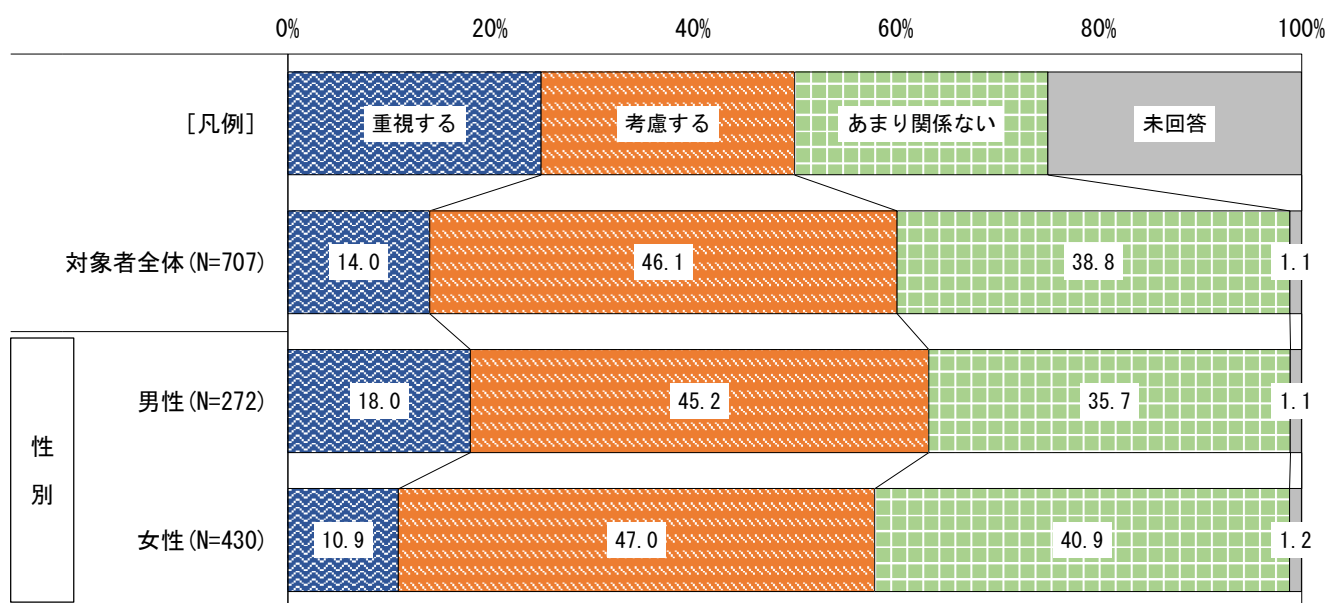


図 2-17 結婚相手を考えるときの重要度：相手の職業

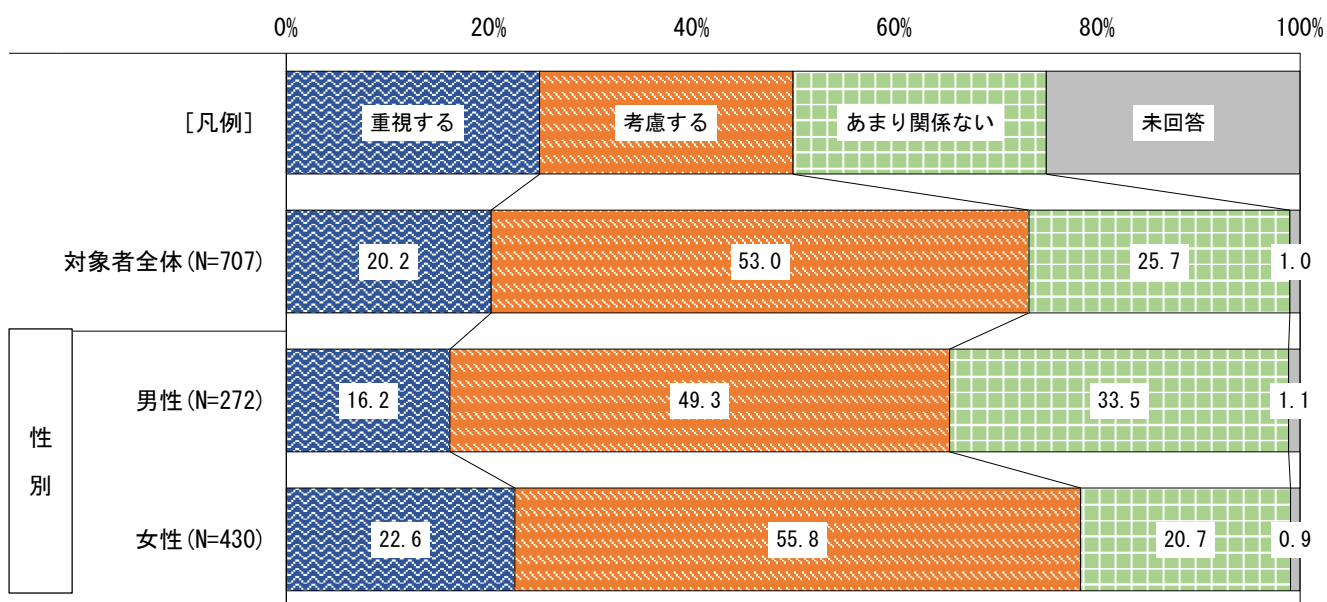


図 2-18 結婚相手を考えるときの重要度：相手の収入などの経済力

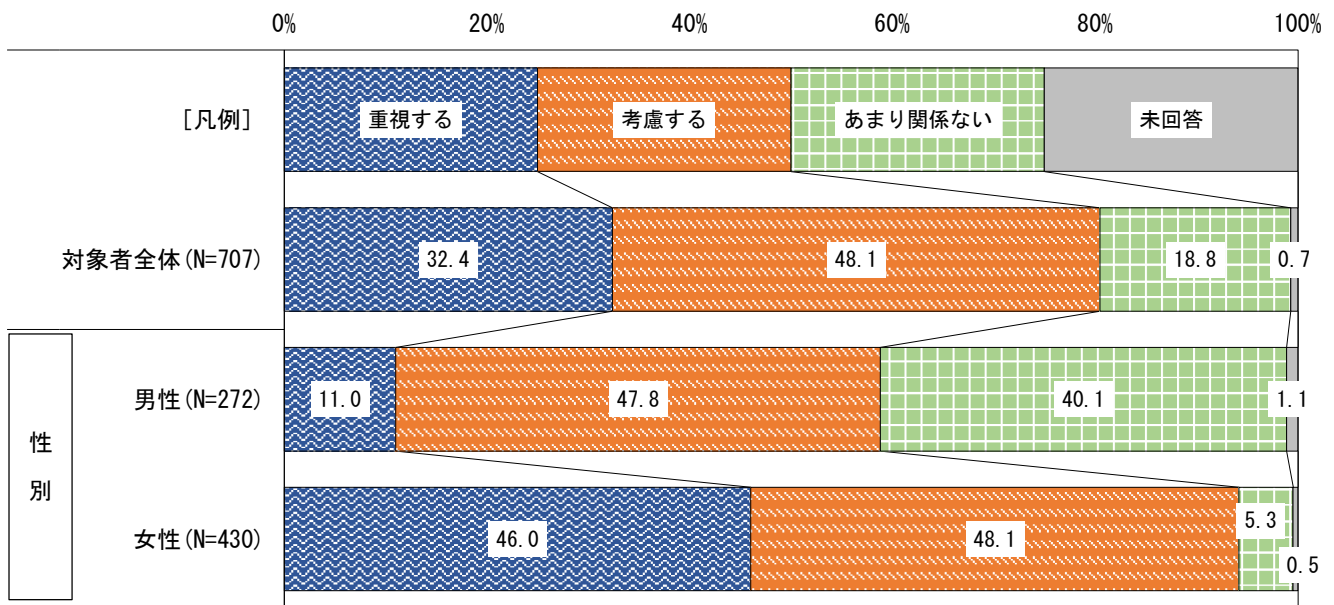


図 2-19 結婚相手を考えるときの重要度：相手の人柄

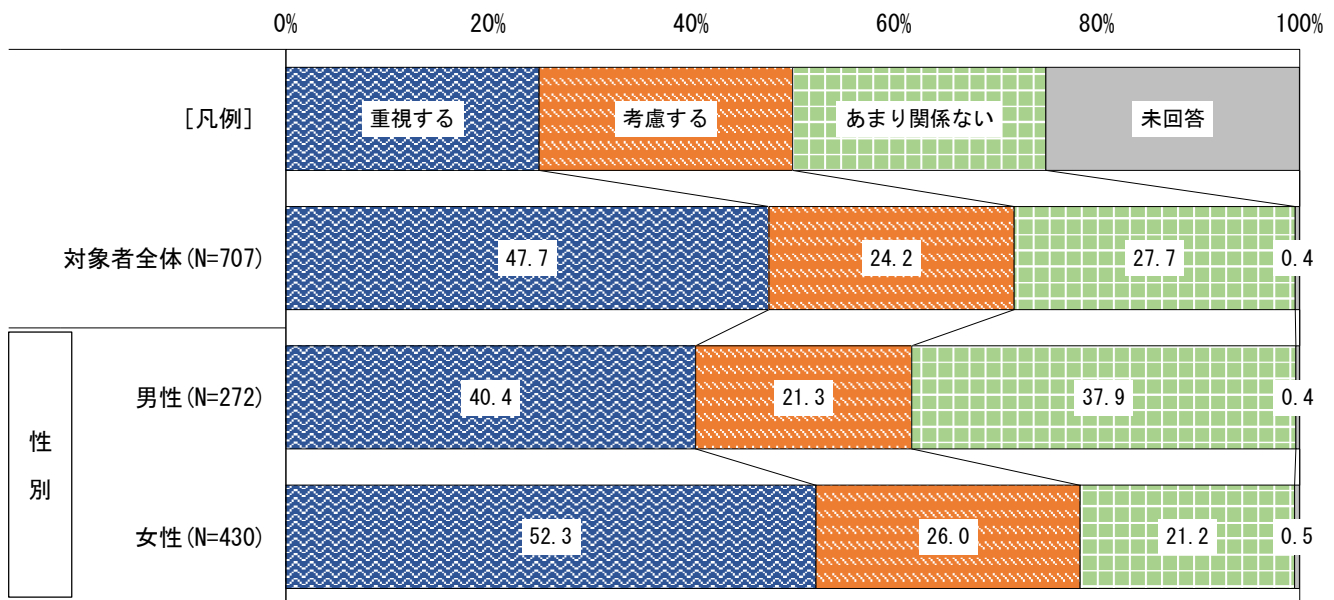


図 2-20 結婚相手を考えるときの重要度：相手の容姿

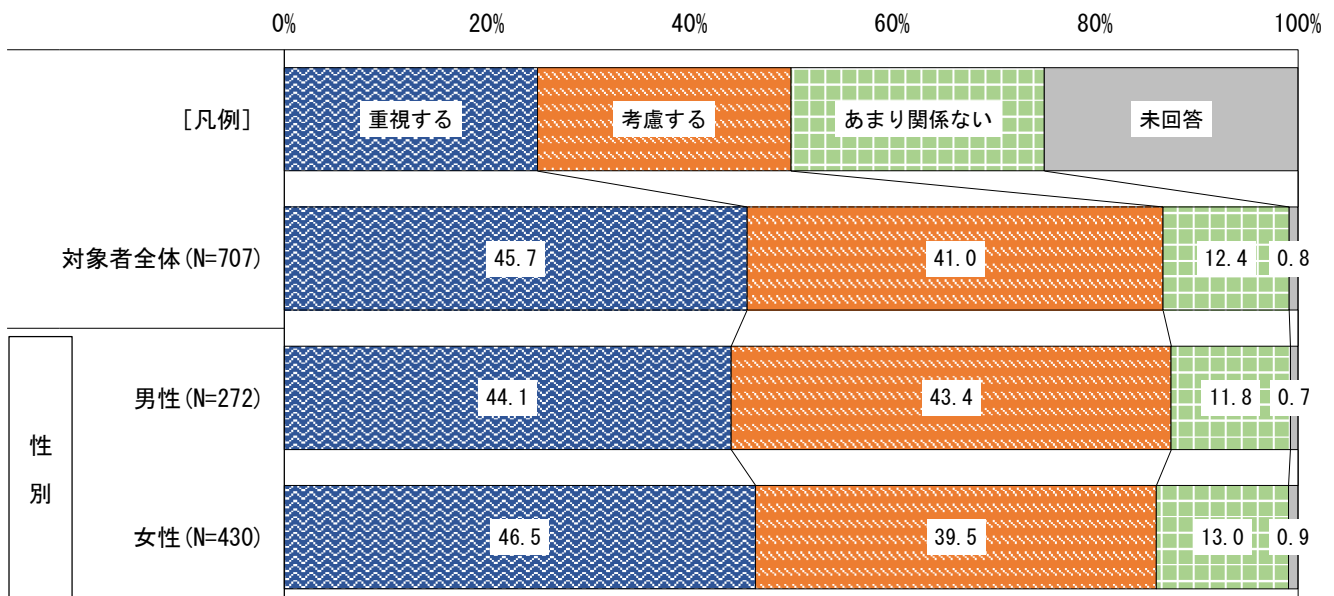


図 2-21 結婚相手を考えるときの重要度：共通の趣味の有無

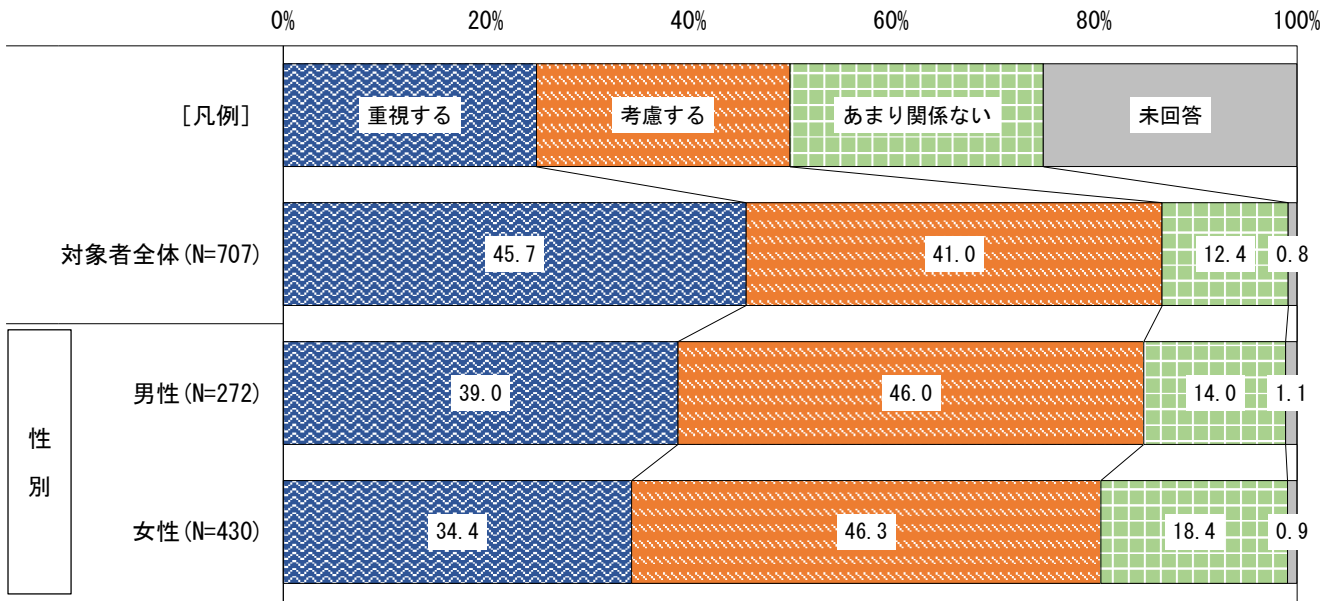


図 2-22 結婚相手を考えるときの重要度：自分の仕事に対する理解や協力

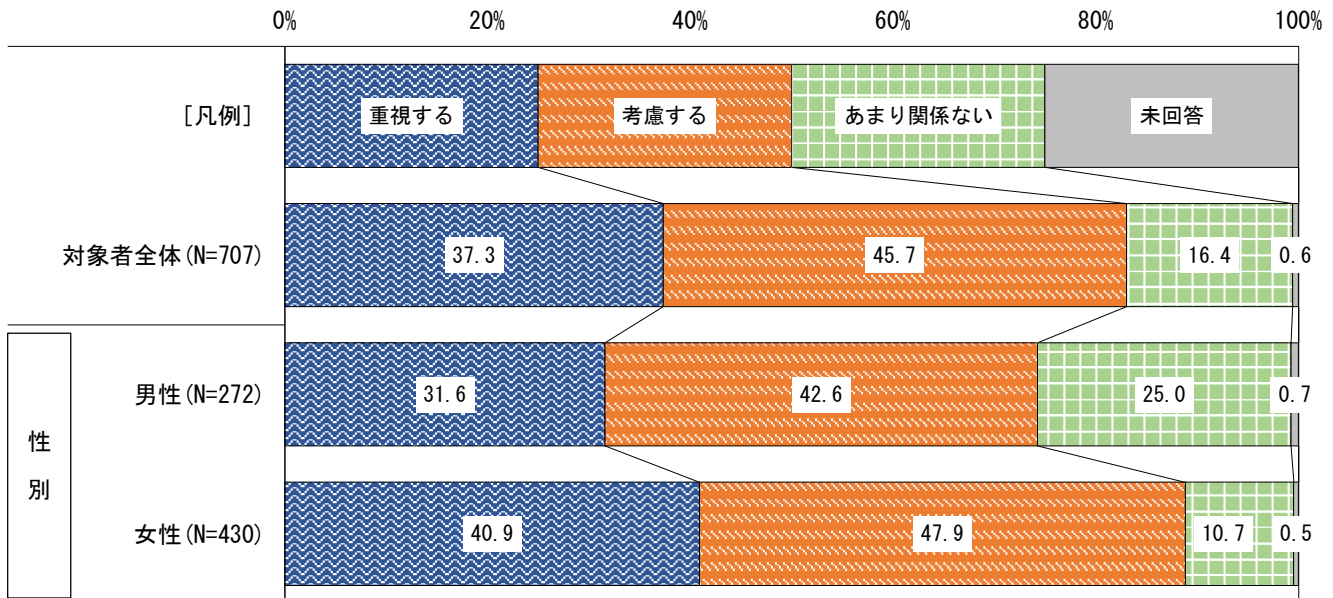
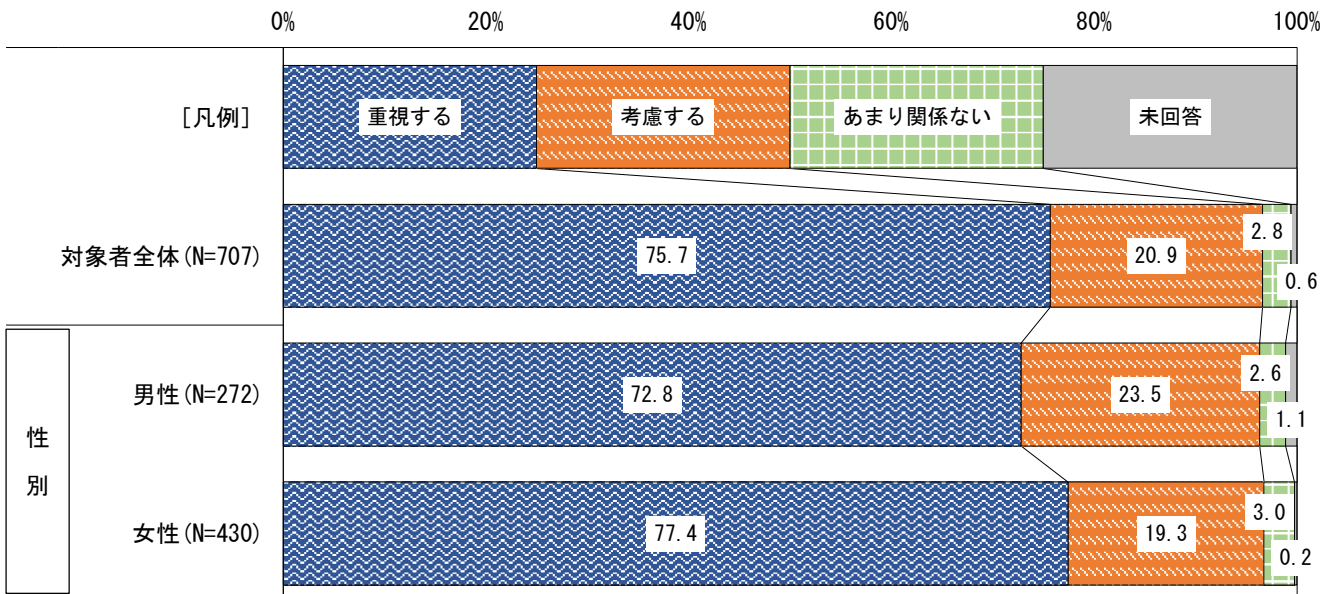


図 2-23 結婚相手を考えるときの重要度：家事・育児に対する姿勢



前回調査・全国調査との比較でみると、男性では令和5年調査で「相手の学歴」「相手の職業」を重要視する割合が高くなっている。また、「相手の人柄」「自分の仕事に対する理解や協力」を重要視する割合は低くなっている。女性では男性に比べて前回調査・全国調査との差は大きくないが、「相手の人柄」では重要視する割合が低くなっている。

図 2-24 結婚相手を考えるときの重要度(前回・全国との比較)：男性

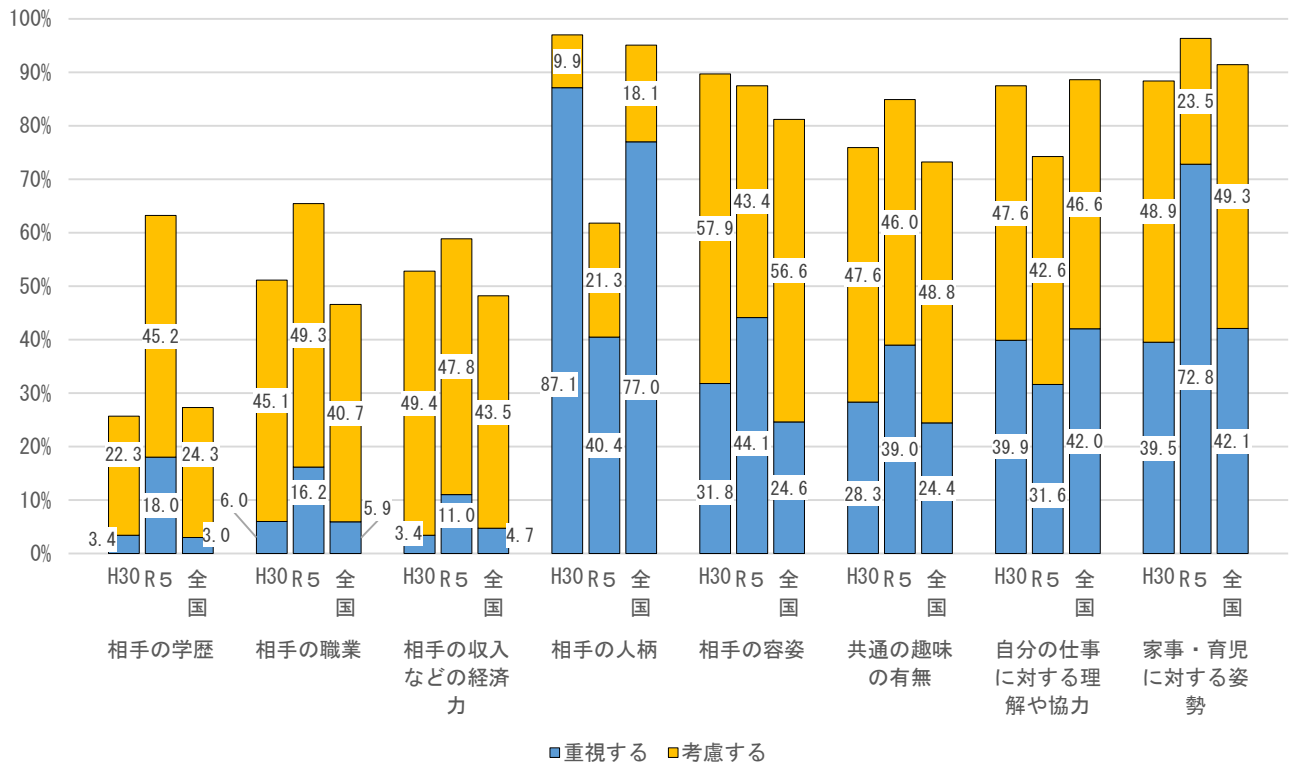


図 2-25 結婚相手を考えるときの重要度(前回・全国との比較)：女性

